# 5分でできる！

# 情報セキュリティポイント学習

## 取扱説明書

独立行政法人 情報処理推進機構
INFORMATION-TECHNOLOGY PROMOTION AGENCY, JAPAN

2009年10月28日公開

# 目次

## はじめに

「５分でできる！情報セキュリティポイント学習」ツールは、職場の日常の事例からセキュリティ対策の必要性を学習するツールです。本ツールは、普段セキュリティとは馴染みの薄い業務をしている方にも、セキュリティに関心を持っていただき、理解していただくために作成しました。そのため、本ツールの学習内容はセキュリティに詳しくない方でも理解できるようになっております。

本ツールは主に中小企業の方を対象にしたセキュリティ学習ツールであり、利用者の方の業種や職位に合わせてセキュリティ対策を学習することができます。

本ツールでは、「物を作ることを主体とする企業」（建設業・製造業など）と、「物を売ることを主体とする企業」（卸売業・小売業など）の２つの分野に合わせた学習テーマを作成しました。あなたの業種に近い方をどちらか選び、普段の業務内容に近い事例を使って学習することができます。

合わせて、経営者・管理者・一般社員の３つの職位を選ぶことができます。同じ学習テーマでも、職位によって求められる役割が異なるため、学習内容が異なります。それぞれの職位に合わせた学習を行い、日頃の業務に役立てることができます（図１参照）。

本ツールは、業種と職位を選ぶことで、自分の業務に近い 105 の学習テーマの中から 15～25 のテーマを選んで学習することができます。学習時間は１テーマ約5分となっており、忙しい方でも空き時間を使って学習することや、家でちょっと気が向いたときに学習することも可能です。

さらに詳しい利用シーンについては下記をご参照下さい。

http://www.ipa.go.jp/security/vuln/5mins_point/scene.html

本ツールでセキュリティ関する様々な事例を疑似体験しながら、正しい対処法を学び、あなたの普段のセキュリティ対策の見直しをしてみましょう。

経営者

学習内容をもとに社内のセキュリティルールや体制の策定・見直しを行う。

管理者

学習内容をもとに自身および部下のセキュリティ対策を見直す。セキュリティ意識向上のための社内研修を実施する。

一般社員

自己学習や社内研修で学習ツールを使用し、自身のセキュリティ対策を見直す。

**図１．想定学習者と活用イメージ**

## Ⅰ．学習前の準備

１．パソコンの動作環境が以下を満たしているか確認します。

OS： Microsoft Windows XP SP3 以降
または Microsoft Windows Vista SP2 以降
CPU： インテル(R) Pentium(R)4 3GHz または同等以上のプロセッサ
メモリ： 512 MB 以上
HDD： 最大 690 MB の空き容量
モニタ： 65,536 色(16 ビット)以上、解像度 1024×768 ピクセル以上
その他： マウス
サウンド再生が可能なスピーカー、ヘッドフォン等
Microsoft .NET Framework Ver. 2.0 SP2 以降
Microsoft DirectX 3 以降
Adobe Flash Player 9 以降
Microsoft Internet Explorer 6 SP1 以降

（注）.NET Framework と Adobe Flash Player は、お使いのパソコンによっては、ご自身でインストールする必要があります。ダウンロード及びインストールの方法は、以下をご参照ください。

.NET Framework Developer Center: ダウンロード
http://msdn.microsoft.com/ja-jp/netframework/cc807036.aspx

Adobe - Adobe Flash Player
http://get.adobe.com/jp/flashplayer/

それぞれのバージョンの確認方法は、以下をご参照ください。

.NET Framework のバージョン、および Service Pack が適用されているかどうかを確認する方法
http://msdn.microsoft.com/ja-jp/kb/kb00318785.aspx

Adobe - サポート - Adobe Flash Player のバージョンテスト
http://www.adobe.com/jp/support/flashplayer/ts/documents/tn_15507.htm

２．ダウンロードした学習コース（圧縮）ファイルを解凍します（図２）。

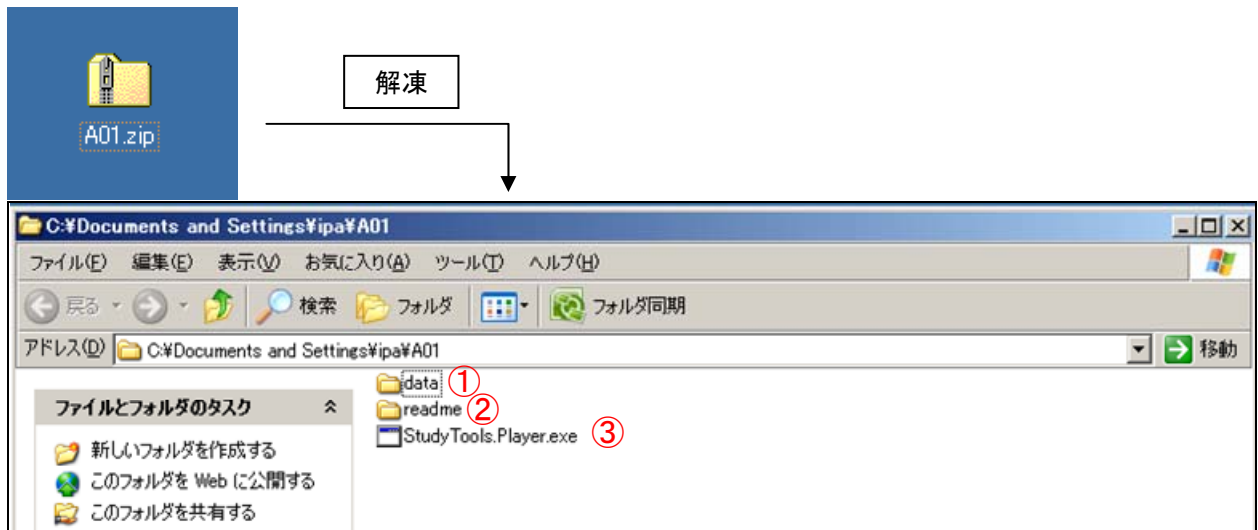



**図２．圧縮ファイルと解凍後のフォルダの内容**

① data フォルダ

学習コース再生プレイヤーの動作に必要なファイルが保存されているフォルダです。このフォルダを削除した場合、学習コース再生プレイヤーは正常に動作しなくなります。

② readme フォルダ

学習ツールに関する文書（利用許諾条件合意書、はじめに、取扱説明書（本書）、問い合わせフォーム、アンケート）が含まれているフォルダです。「利用許諾条件合意書」、「はじめに」、「取扱説明書」は、ツール使用前に必ずお読みください。

③ StudyTools.Player.exe

学習コース再生プレイヤー本体です。

３．”StudyTools.Player.exe“をダブルクリックするとメインメニュー画面（図３）が表示されるので、[学習者情報設定]をクリックします。

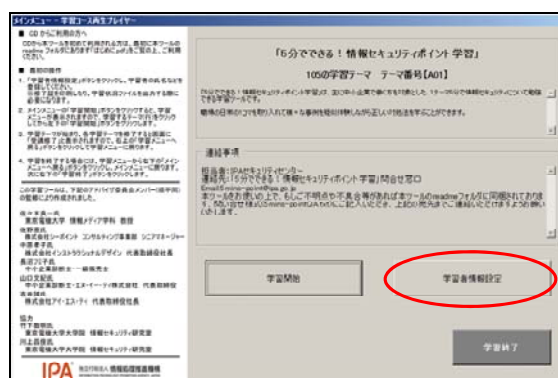



**図３．メインメニュー画面（学習者情報設定）**

4．必要情報を入力後〔保存〕をクリックします（図４）。ここで入力した情報は、修了証に記載されます。

図４．学習者情報設定ダイアログ（保存）

## Ⅱ．学習の実施

1．メインメニュー画面（図５）の〔学習開始〕をクリックして学習メニュー画面を表示させます。

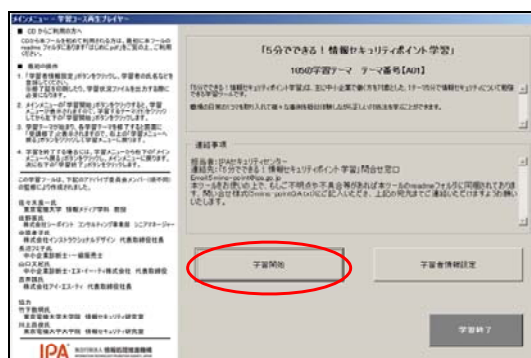



図５．メインメニュー画面（学習開始）

2．学習メニュー画面（図６）で、学習するテーマをクリックして指定し、〔学習開始〕をクリックします。

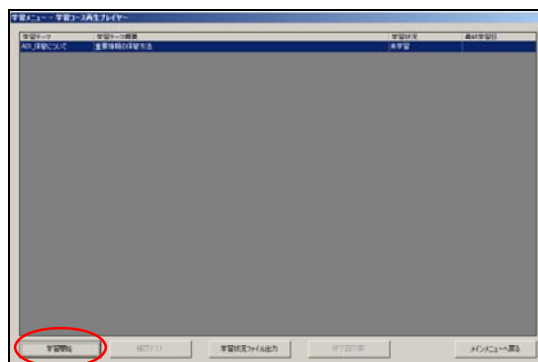



図６．学習メニュー画面（学習開始）

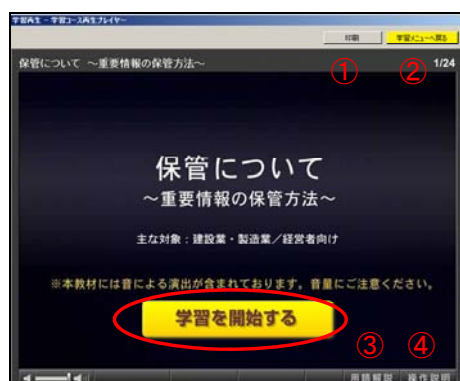
① 選択した学習テーマの学習再生画面が表示され、学習ウィンドウ（図７）内の〔学習を開始する〕をクリックして学習を開始します。

| |
|---|
| ① ［印刷］ 学習再生画面を印刷。 |
| ② ［学習メニューへ戻る］ 学習メニュー画面に戻る。 |
| ③ ［用語解説］ 学習テーマに沿った用語の解説を表示。 |
| ④ ［操作説明］ 画面操作の説明を表示。 |

**図７．学習再生画面（学習を開始する）**

② 学習再生画面（図８）下部の（次へ ▷）が黄色で点滅してクリックできるようになるので、〔次へ〕をクリックして次画面に進みます。黄色になる前にクリックしても次画面へは進みません。（前の画面に戻りたいときは[戻る]をクリックします）

**図８．学習再生画面（次へ）**

③ 導入→事例→学習の意図→正しい対処法の順で学習が進んでいきます。正しい対処法までが終わったら、最後の確認テストに進むため[完了]をクリックします（図９参照）。

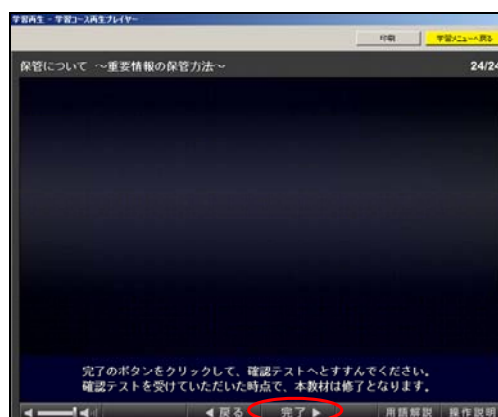



**図９．学習再生画面（完了）**

④ 確認テスト（図１０）が始まるので、２～４択の中から正しいと思った選択肢を選び、クリックします。

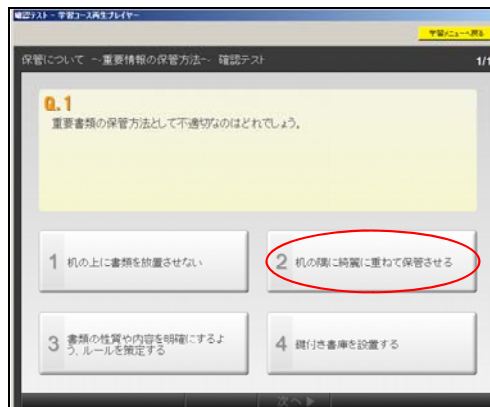



図１０．確認テスト画面

⑤ 答えと解説が表示されます（図１１）。教材を参照したい場合は、[教材を参照する]をクリックすると導入からもう一度見ることができます（図１２）。教材参照中の学習再生画面で[確認テストに戻る]を押すと、確認テストに戻ることができます。

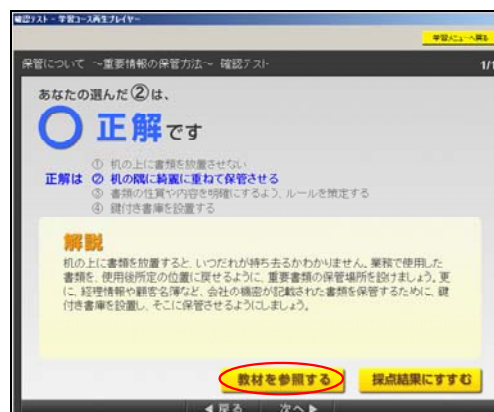



図１１．確認テスト画面（教材を参照する）

図１２．確認テスト画面・教材参照中（確認テストに戻る）

⑥ 教材を参照せず、採点結果に進む場合は[採点結果にすすむ]を押します（図１３）。

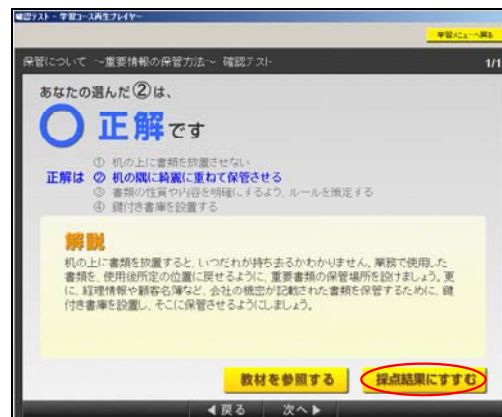



**図１３．確認テスト画面（採点結果にすすむ）**

⑦ 採点結果が表示されます(図１４)。ウィンドウ内の「受講修了」をクリックします。

（注）ここで[学習メニューに戻る]をクリックした場合、学習状況には[確認テスト実施中]と表示され、単元を修了したとみなされないので注意して下さい。

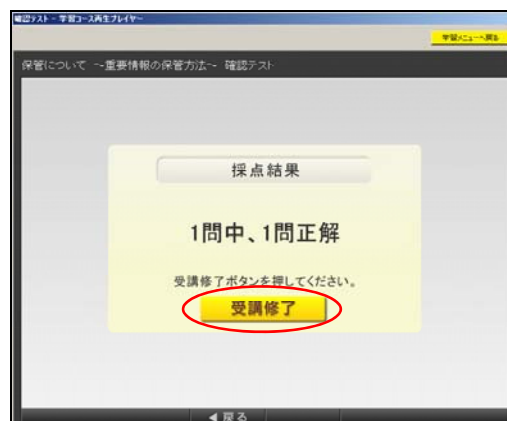



**図１４．確認テスト画面・採点結果（受講修了）**

⑧ 受講修了の画面（図１５）が表示されるので、[学習メニューに戻る]をクリックして、学習メニューに戻ります。

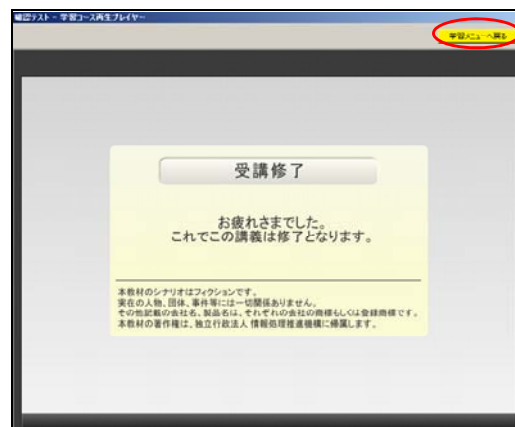



**図１５．確認テスト画面・受講修了（学習メニューに戻る）**

３．学習メニュー画面に戻ります。終了した単元には[単元修了]が表示され、もう一度確認テストを行ったり、修了証を印刷することができます。

① 学習メニュー画面で、修了した学習テーマの「学習状況」欄には“単元修了”が表示されます（図１６）。

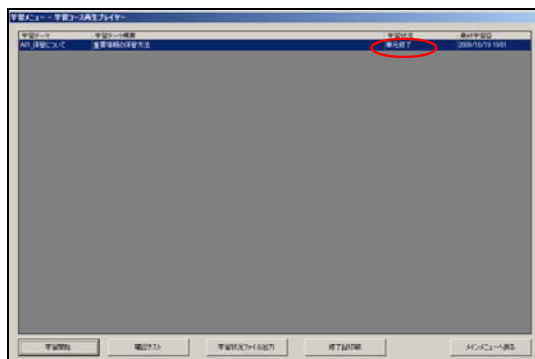



**図１６．学習メニュー画面（単元修了）**

② 修了した学習テーマの確認テストを再度行うときは学習テーマを指定（クリック）して学習メニューの〔確認テスト〕をクリックします（図１７）。
（確認テストについては、Ⅱ．２．④～⑧を参照）

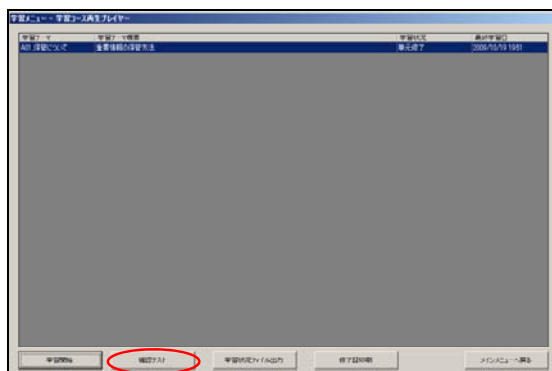



**図１７．学習メニュー画面（確認テスト）**

③ 学習メニュー画面で修了した単元を指定（クリック）し、[修了証印刷]をクリックすると、修了証を印刷することが出来ます（印刷にはプリンタが接続されており、印字可能な環境が必要）。

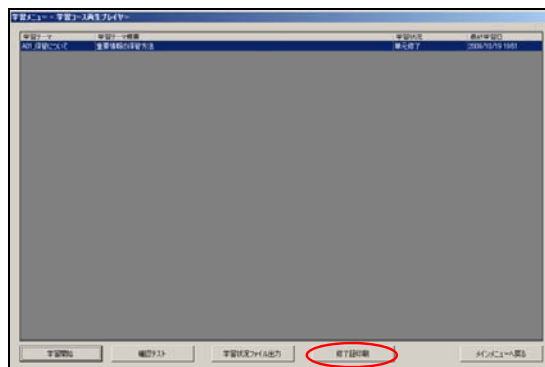



**図１８．学習メニュー画面（修了証印刷）**

④　修了証が印刷画面表示されます。Ｉ．４．で入力した学習者の氏名と同じであることを確認し、〔印刷〕をクリックして印刷します（図１９①）。

氏名を間違って入力していた場合は、次の⑤の手順でメインメニュー画面に戻り、Ｉ．３～Ｉ．４の手順で再度、学習者情報を入力します。

印刷が終わったら[学習メニューへ戻る]を押して学習メニュー画面に戻ります（図１９②）。

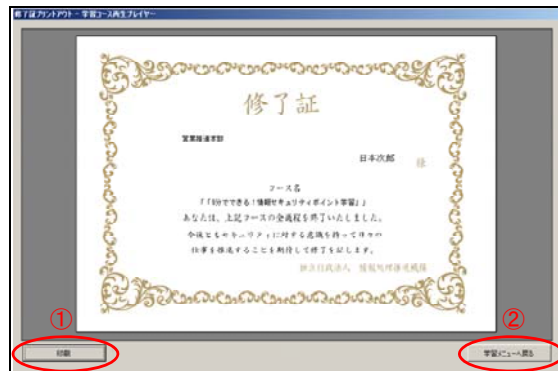



**図１９．修了証プリントアウト画面**

⑤　確認テストや修了証の印刷は行わず、すぐに終了する場合は学習メニュー画面の[メインメニューに戻る]をクリックします。

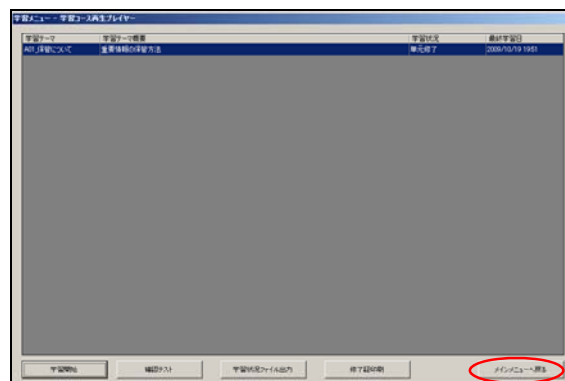



**図２０．学習メニュー画面（メインメニューに戻る）**

⑥　メインメニュー画面の[学習終了]をクリックし、終了します。

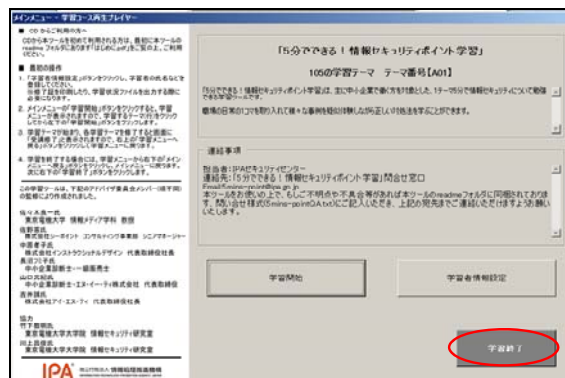



**図２１．メインメニュー画面（学習終了）**

## Ⅲ．途中終了について

１．学習を途中で終了したい場合は、学習再生画面（図２２）右上の[学習メニューに戻る]をクリックします。途中で終了した場合、学習状況画面には「学習中」または「確認テスト実施中」と表示されます。次回学習する時は、初めから学習することになりますのでご注意ください。

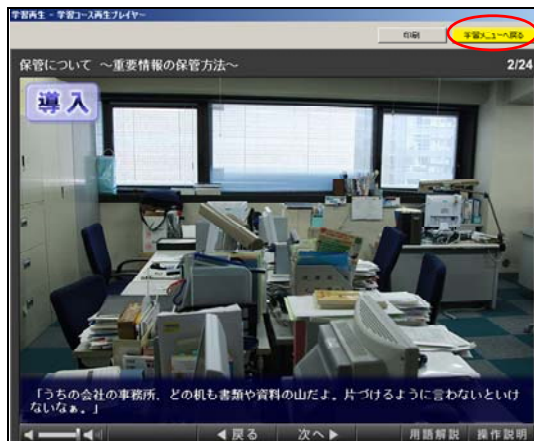



図２２．学習再生画面（学習メニューに戻る）

２．学習メニュー画面（図２３）に戻るので、画面右下[メインメニューに戻る]をクリックします。

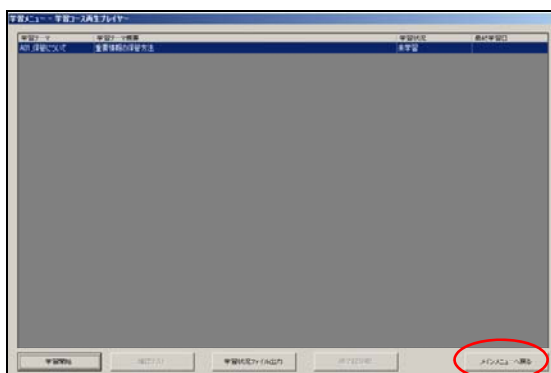



図２３．学習メニュー画面（メインメニューに戻る）

３．メインメニュー画面（図２４）の[学習終了]をクリックします。

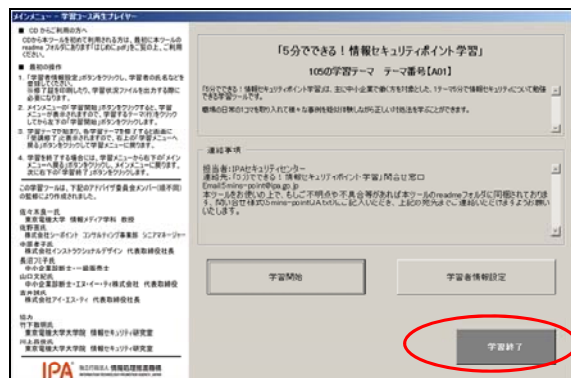



図２４．メインメニュー画面（学習終了）

本ツールをお使いの上で、ご不明な点があれば「よくある質問と回答」をご参照下さい。
http://www.ipa.go.jp/security/vuln/5mins_point/faq.html
万一、問題が解決しない場合は、お手数ですが本ツールの readme フォルダに同梱されております、問合せ様式(5mins-pointQA.txt)にご記入いただき、下記の宛先までご連絡いただけますようお願いいたします。

IPA セキュリティセンター
「5 分でできる！情報セキュリティポイント学習」問合せ窓口
e-mail: 5mins-point@ipa.go.jp

本ツールは IPA の提供する「5 分でできる！自社診断シート」と連動しております。こちらもご活用下さい。
http://www.ipa.go.jp/security/manager/know/sme-guide/